

湖北地域の回復期リハビリテーションを支える

患者さん、ご家族を中心に、医師・看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・薬剤師・管理栄養士・社会福祉士・介護福祉士等が協働し、集中的なリハビリテーションを行う病棟です。

下記疾患などにより身体機能の低下した患者様に対して、日常生活動作能力の向上による寝たきりの防止と家庭・社会復帰を目指します。

対象疾患

1A	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症又は手術後、義肢装着訓練を要する状態
1B	高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷及び頭部外傷を含む多部位外傷
2	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節もしくは膝関節の骨折又は二肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態
3	外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後または発症後の状態
4	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後の状態
5	股関節又は膝関節の置換術後の状態
6	(新) 急性心筋梗塞、狭心症発作その他急性発症した心大血管疾患又は手術後の状態

365日リハビリ

最大限の回復が得られるよう365日、リハビリを提供できる環境の整備をしています。理学療法士、作業療法士、言語聴覚士によるリハビリはもちろん、病棟スタッフによる病棟リハビリも実施しています。患者さんが一日も早く回復できるよう支援します。



医療機器の利用

電気治療機器やt-DCS（左写真：微弱な直流電流で頭部を刺激し、機能回復を促進する装置）、ロボット併用リハビリなど、患者さんの状態に応じて、回復を促すために最新機器を活用したリハビリを実施しています。

充実した歩行練習環境

歩行の再獲得に向けて、歩行練習の頻度を多くして、生活環境に応じた歩行練習を繰り返し行うことで、回復の支援をしています。当院では歩行練習用の平行棒を病棟内の廊下やホールに設置しています。また屋外歩行練習用のリハビリ庭園があり、退院後を見据えて積極的に歩行練習を行っています。



住宅訪問

住み慣れた住居で安心して生活ができるよう、状況に応じて担当スタッフがご自宅に伺います。住宅改修や福祉用具の提案や動作指導を行います。

園芸活動

湖北地域では退院後も趣味の畑仕事をしたいという希望が多く、リハビリに園芸活動を取り入れることで、退院後も円滑に日常生活に復帰できるよう取り組みをしています。



感染予防

入院中の患者さんが安心してリハビリを行えるよう、スタッフは毎日の検温、アイシールド・マスクを着用し、治療終了ごとに治療台や物品の清掃、消毒を徹底しています。また室内の換気や、患者さんのリハビリ前後の手指消毒も実施しています。

充実した
リハビリ中心の病棟
～笑顔が生まれる
空間を提供します～

